

札幌市長、北海道知事を表敬訪問

2月25日札幌市長を、3月21日北海道知事を、廣田会長、宮本須美子さん、二世プラス



の会川去会長、事務局の北明が表敬訪問し、これまでの協力・支援に感謝するとともに、被爆者支援センターにも変わらぬご支援をと要請しました。ぜひ会館見学を、また機会あれば議会で被爆者の証言を、と要請しました。

原水協総会で 来賓挨拶

3月15日、北海道原水協の総会が札幌市内で開かれました。来賓挨拶で廣田会長は高齢化のため被爆者協会はやむなく解散すると報告、これまでの支援のお礼を述べました。また宮本須美子さんは新しい組織北海道被爆者連絡センターの説明をし、引き続き変わらぬご支援をと挨拶しました。

調べ学習で 全国優良賞

3月25日、恵庭の小学校3年生柴田祥太郎君親子が会館に。本を調べ戦争体験者や被爆者の話を聞いてまとめられたレポートが、図書館振興財

団の調べ学習全国コンクールで見事優良賞に。レポート名は『みんな、本当に戦争が正しいと思っていたの?』、なかなか読みごたえがありますよ。(写真掲載は親御さん了解)



新しい動き続く 高校生実行委による 被爆ピアノコンサート

3月29日、平和大使たち高校生実行委による被爆ピアノコンサートの紀伊国屋書店のインナーガーデンで開催。被爆ピアノの力強い、美しい音に耳を傾け核兵器の廃絶を誓いました。廣田会長は「高校生が核兵

器のない世界を目指して活動しているのは大変心強い」と挨拶しました。3月31日は札幌市庁舎の1Fロビーでコンサートが。被爆者の金子廣子さんは「今日被爆者協会は65年の歴史に幕を閉じる。しかし、被爆

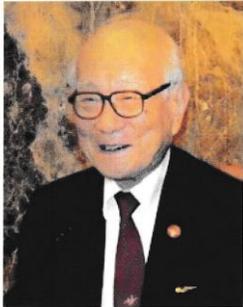


二世や支援者の力を借りて、これからも核兵器廃絶に向けて訴え続けたい」と語りました。被爆ピアノコンサートは都合7か所、計1600名が参加して被爆ピアノの奏でる音に耳を傾けました。



一日本被団協代表理事一 田中熙巳さん来たる!

祝!日本被団協・ノーベル平和賞受賞
オスロからの報告
核兵器のない世界をめざして



記念講演
田中熙巳さん
日本原水爆被害者団体協議会代表委員
2024年12月10日ノルウェー オスロでノーベル平和賞受賞記念講演
たなかいてる 1922年生れ。13歳の時に長崎で被爆。東京理科大学物理学科卒業。工学博士。元東北大学助教授。日本被団協の事務局長を20年務める。現在代表委員

☆オープニング：北海道合唱団
☆朗読劇「あの日 あの時 ヒロシマで、ナガサキで」札幌南高校定時制・2年生有志
☆高校生平和大使、被爆二世世

2025年 5月24日(土) 13:00~15:30 (開場 12:30)

かでのアスピックホール (旧かでの2・7) 中央区北2条西7丁目

参加費(資料代含む)1,000円(学生以下無料)

主催：日本被団協ノーベル平和賞受賞を祝う会実行委員会

後援：札幌市

問合せ：札幌市中央区大通西10丁目4番 たかさき・渡部法律事務所

☎011-261-7738 弁護士 高崎 暢